

各町内会ニュース

第一町内会

第一町内会では、防災活動の一つとして、毎年実施しております救命法（心肺蘇生法）講習会を、市消防本部職員を講師に迎え、九月十八日に実施しました。今回は十八名の参加者があり、第一回目からの受講者は延百五十名に達しました。今後も継続して実施する予定です。出来るだけ多くの方の受講を望みます。

十月七日には、体育大会がありました。町内対抗競技の選手選出には毎年ながら悩ませられます。特にリレーの選手については非常に苦労しました。結果は、町内対抗競技六位と振いませんでしたが、出場選手一同全力をあげて楽しく競技をしました。又、個人出場種目もあり、多数の方が参加され、楽しい一日を過ごしました。

十月二十一日には、湘北地区自治会連合会（香川、甘沼、松風台、鶴が台等近隣七自治会の連合体）主催、市防災課職員・消防署職員・小・中学校職員・消防団員、協力の防災訓練が香川小学校校庭で実施され、約三百名の方が参加致しました。当第一町内会では、町内会割当人数二十五名が参加し、避難所の立上げ、避難者名簿の作成、簡易トイレの作り方、プール等の水の浄化、炊き出し、消火訓練、救急訓練等を、各指導者の下訓練致しました。

十一月十日、第一町内会の役員会を開催し、前期活動報告、後期活動計画を審議致しました。

十一月十八日には、本年度最後の第一町内会ブロック別防災研修会を実施致しました。

第二町内会

九月二十一日に新しく購入した防災倉庫を第二青少年広場に設置しました。続いて、十三日には早朝の町内清掃を終えてから倉庫内の防災用品の点検を行い、器具のテスト、電池交換などをして、非常時にいつでも使用できるようにしました。倉庫の点検は定期的に行っていますが、会員のみなさんからのご要望があれば臨時に開示しますので申し出て下さい。

十月の体育祭に向けて、九月の後半から町内対抗種目の選手を決めるための会議を開いてきました。十月七日の体育祭までには何とか選手が決まりましたが、応募される方が毎年少なくて定員を揃えるのに苦労しています。今年の成績は六チーム中で総合四位という結果でした。町内対抗といってもプログラムを見てもわかるように簡単な競技種目が多くありますから来年は是非一つでも参加してみてください。

第三町内会

◎体育大会では第三位

香川地区体育大会が、十月七日香川小学校校庭を会場に開催されました。

今年の町内対抗は五種目。出場メンバーは、当日まで確定出来ないうといった状況でしたが、最初の種目「玉入れ」では、圧倒的な強さを見せるなど、各種目共大奮闘の結果、総合で三位入賞に輝きました。

体育大会参加に当っては、町内会役員はもとより、体育振興会・こども会・各役員等各関係団体の方々の並々ならぬご努力を戴きましたことを、改めてお礼申し上げます。

◎湘北地区防災訓練開催

十月二十一日（日）湘北地区自治会連合会による防災訓練が、香川小学校校庭を会場に行われました。

第四町内会

去る十月七日に第三十三回香川地区体育大会が、開催されました。当日は絶好の運動会日和とあって、出場選手の皆さんが、本来の実力を発揮され町内対抗総合で準優勝を果たす事が出来ました。これは、過去三年間で二回目の快挙で、これも偏に、参加者全員が結束し一致協力した成果だと思えます。お蔭さまで、楽しく運動会が出来ました事を、深く感謝申し上げます。尚、大会冒頭に体育の振興に貢献された方々の表彰式が行われ、当町内会の岸田フミさん（元自治会伝達員）が、永年の功績を称えられ表彰されました。

十月二十一日湘北地区合同の防災訓練が、香川小学校で行われ町内から三十名の方が、参加されました。訓練の内容は例年通り、避難所の開設から始まり、初期消火訓練（粉末、水、窒息消火）救出訓練では負傷者の搬送方法、応急処置でロープの結び方、三角巾の使い方、蘇生訓練で人工呼吸、心臓マッサージ等で参加された皆さんは真剣に訓練されておりました。最後に給食班による非常食食用ご飯と豚汁が準備され御馳走になりました。

九月二十八日、町内三十七二組、評議員を務められていた後藤昇久様が、逝去されました。享年六十八才でした。後藤さんは、自治会活動、特に町内の行事、会議には熱心に取り組んでいただき、感謝申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

当日は、各自治会、町内会の他、学校関係、消防、市職員等三三〇余人が参加し、避難所運営委員会設置・初期消火訓練・救護訓練・給食訓練等幅広い訓練を班毎に行ないました。

初期消火訓練では、倒壊家屋の柱を発電機とチェンソーによって切断する訓練等もあり、参加者は、真剣に取り組んでいました。訓練を終つては、給食訓練によって用意されたトン汁と炊飯を頂いて解散となりました。

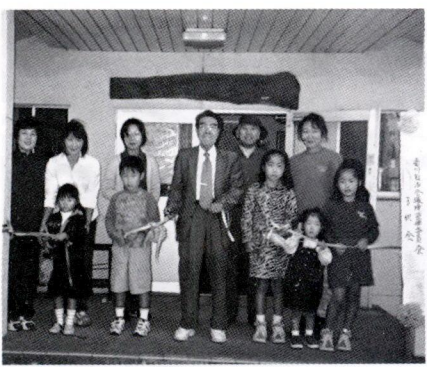
◎町内役員会は十一月十七日今年も少なくなりました。年末・年始にかけての町内会行事予定等を話し合う町内役員会を十一月十七日に開催しました。

◎正月前の美化運動をお願いします。来年は役員改選が行なわれますので、組長さんの会議も少し早目に行なわれます。よろしくお祈りします。

2001年環境ポスター展開催

環境整備委員会

新世纪初年度の、香川自治会・子供会共催による環境ポスター展を九月二十二日・二十三日の二日間自治会館第一会議室にて開催。本年のテーマは「未来の香川の町」"こんな町に住みたい" 思いを子供会のメンバーにてポスターを作成していただきました。



ポスター展開催のテープカットをする皆さん

作品は、未来の町は香川駅を中心に大きな道路があり、また緑と花がいっぱいの公園、そしてゴミのない道！犬のふんのない道の作品も多数出品されました。

香川の道もまだまだゴミの『なげすて』『犬のふん』が目立っています。大人達の行動が子ども達の目線で見られています。この点は各自一人一人の意識改革が望まれる。本年の開催日は三連休にもかかわらず親子づれが多く観客数は昨年より一八三%の動員増となりました。ありがとうございました。

オケラの戯言

先日、町内某所で二人乗りした自転車の高校生らしき者と擦れ違った。そのうちのひとりとはたばこを吸いながら・・・である。我ら道ばたのオケラからは、よく見かける光景である。彼らは人間の大人に注意されるまでもなく、悪い事と知っているはずである。

しかし、町にはたばこや酒類の自販機が溢れ、誰でもが容易に買うことのできる世の中。人間社会とは、誠に便利な社会である。

これらは、全て大人中心に造られた社会環境であって、子供も大人扱いはされている様である。我らオケラの社会では規律が厳しく、こうは行かない。どうやら便利さの陰にカネ、カネ、カネの利潤追求型社会があるのでないかと思われる。便利さ優先で誰でもが、容易に買うことの出来る自販機、これでは「買うのが悪い」と誰も言えないではないか。子供を叱る前に、大人も良く考えてみる必要があるだろう。

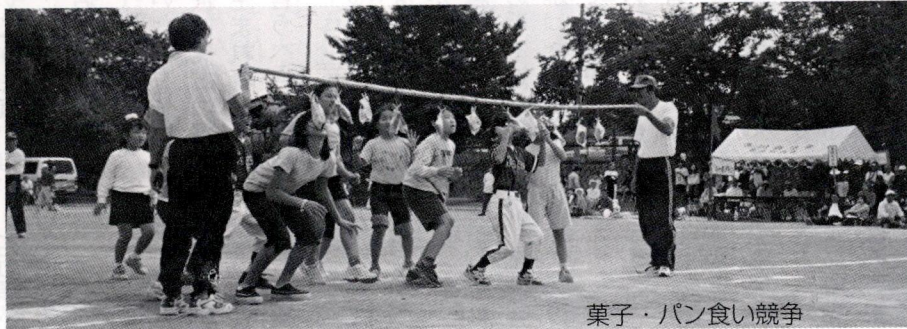
少々の不便があっても、人間の大人も我慢、我慢。せめて酒やタバコ位は対面販売に出来れば良いのに！悪い悪いと言つても今の環境がそうなっているのだから、皆無にするには難しいだろう。やはり大人の責任と言ふ事になる。自販機が悪いとは言わないが、それを扱う大人の側にも問題があるのではないか。未成年者の犯罪が多発する中、子供を阻害した社会環境、そして便利さ優先、利潤追求の社会、カネ、カネ、カネに明け暮れる世の中、この辺に問題があるのではないだろうか。

「非」を責める前に、もう少し「理」に叶った世の中にしたらいませんか。そうは思いませんか。

第33回香川地区 体育大会行なわれる



破鈴



菓子・パン食い競争



よーいどん 色合わせゲーム



体操クラブの演技

十月七日(日)晴天に恵まれ、第三十三回香川地区体育大会が開催されました。毎年のことながら町内会対抗種目には熱戦がくりひろげられ各町内会から声援が送られていました。今年の新しい種目は「ラムネ早飲み競争」「スプリンレース」「風船割ゲーム」で子供達も大喜びでした。皆様又来年もぜひ御参加下さい。

各町内会の成績は次の通りです。

優勝	甘沼自治会	70点
準優勝	第四町内会	62点
第三位	第三町内会	57点
第四位	第二町内会	50点
第五位	松風台自治会	45点
第六位	第一町内会	36点

各町内会、団体の役員さんお疲れ様でした。来年も優勝をめざして頑張ってください。



玉入れ



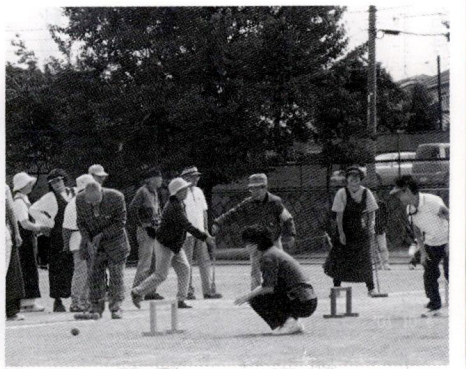
障害物競走



つなひき



ムカデ競争



ゲートボール競争

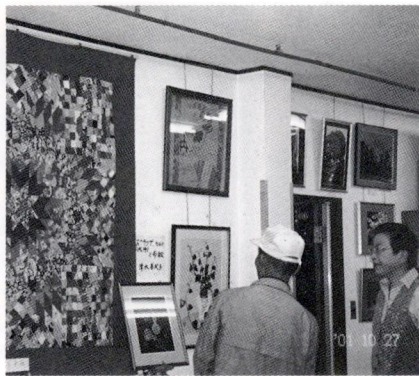
最初、自治会館の外で野点をしてほしいとの申し出をうけましたとき、スペースの心配をしましたが、委員の方が紅白の幔幕をめぐらして下さり、野点傘を立てるとお茶席の雰囲気が出た。その上好天に恵まれ有意義な一日でした。

お茶の心得のある方、初めてお茶をお飲みになる方なども多くおられました。特に小学三年生の男の子達が「おいしい」と言ってお茶を飲んだのは嬉しく思わず頭を撫でてしまいました。またお作法どおりにお茶を飲んでいた女の子に聞いた「おばあちゃんに教わった」と答え、感心いたしました。お作法なしでもお茶をおいしく頂いて下されば何よりと思いい、皆忙しいながらも心をこめてお茶を点ててお出ししました。

新しい時代に向って諸事変わりつつある昨今、戸惑いを感じながら

初めての野点(のだて)

亀井宗春



大作に見入る

香川文化祭を終えて
文化厚生委員 秋田 静子
第二十回香川文化祭が、十月二十七日・二十八日の二日間、香川自治会館に於いて開催されました。芸術の秋にふさわしく地域の皆様のすばらしい作品が展示されました。一日目の二十七日には、



たのしみだね

も日本文化の伝統を大事に継承していきたいと思えます。茶道の良さは主客共に和やかに心から打ちとけて一刻を過すことにある。お客様は約百六十名で、皆様に差し上げたお抹茶の一杯が心をなごませ喜んで頂けて良かったと嬉しく思いました。

最後に委員の方々に大変お世話になりましたことを心から感謝しお礼を申し上げます。



体験コーナー

亀井宗春先生とお弟子さんによる野点をしていただき、文化祭に来た方も緊張しながらも抹茶をいただいたておりました。二日目はあいにくの雨でしたが、体験コーナーでは、帽子止め、貝のアクセサリ、ねんどの花、ちぎり絵等、多勢の方が一生懸命作っておられました。香川の地域にもすばらしい芸術家が多数いらっしゃいます。来年の文化祭にはあなたも是非足を向けて見てはいかがでしょう。

第4回目となるバーベキュー大会も、例年は8月に行われていたが、今年は皆の日程が合わずあきらめムードが漂っていました。が「やっぱり今年もやりたいね」の一言から、一週間後には決行する事が出来ました。年代も様々な37の3組ですが、行動力・団結力と共に皆の日頃からの仲の良さがうかがえました。

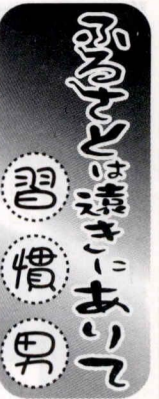
当日はバーベキューに加え、すいとん入り豚汁と秋らしいメニューも加わり、普段キッチンに立たないお父さん達が大活躍して下さいました。

小学生以下の子供が多いこの組ですが、ご近所の優しい目に見守られて育てているせい「大きい子が小さい子の面倒を見る」理想の環境が出来ていて、子供達も楽しんで参加していました。

来年も再来年もずっと続けていきたい37の3組のイベントです。



小さい秋見つけた! バーベキュー大会



故郷は遠きありて思うもの、
そして悲しく歌うもの
昔こんな詩を教科書で読んだ記憶がある。

年を重ねると(少し重ね過ぎたが)故郷が恋しくなる。どんな人でも故郷はあると思うが、無くなっているかも知れない、と近頃感じた。先月芹沢に「里山公園」と言う名で自然公園風のもので一部出来て開園されたと広報に掲載されていたので早速行って見た。芹沢は父方の実家の有る所、亡父の生まれ育った故郷、私の原点とも言おうべき親しみの有る所である。

行って見て驚いた。子供の頃に見覚えが有る風景と全然違う別の風景がそこに出来ていた。
綺麗にはなつたと思うが、それは人の手で造つたもので、兎が美味しかった(追いついた)昔の芹沢では無かつた。
古い奴だと思いでしようが、この昔の唄の文句ではないが、少し前に見慣れた景色が、変わっていくのは嬉しくもあり、悲しくもある。

四十年前には田圃ばかりの所に突如出現した団地とか、山の上に現れた巨大団地とか、海岸線では、パシフィックホテルが、漸く茅ヶ崎の景観になつたのに、残念ながら姿を消してしまつたとか。
特に変化の激しいのは茅ヶ崎駅周辺の変り様は、四十年前の駅前を知る者にとつて、びっくり仰天の出来事である。
確かに人口の増大は四十年前の二倍にも成る茅ヶ崎市は、種々の面で機能的に成らざるを得なかつたと思う。

さて香川はどの様に変化をして来たのか、私は三十五年前からこの香川に移り住んでの感で、(当時三十才)田圃が埋められて住宅地になり子供達と一緒にアメリカ力えびを取つたのが嘘のような話となり、子供達にとつての故郷が心の中だけの思い出になつてしまつた。

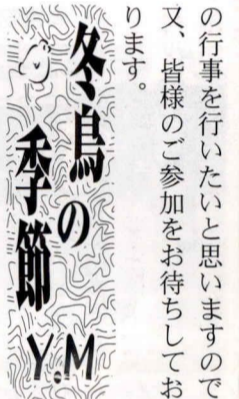
過ぎた昔は泣いてもわめいても戻つてこない。進歩発展は、生活に便利さや、豊かさをもたらしてくれるが、一つが新しくなると、一つが消えてゆく、淋しい話だ。
故郷は遠くの方から見ただけで行つて見ても、そこはただ風が吹いているだけ、なんていやだ。
香川は発展途上の町、良い故郷を子供等に残したい。

地引網大会によせて

中村朝美

香川自治会、ふれあい委員会第八回の地引網大会が十月十四日に茅ヶ崎海岸にて催されました。当日は天候も良く地引網日和でした。第一回目の網を引く頃には大勢の参加者で楽しく引く事が出来ました。網にはアジ・カマス・ペラなど小魚が多かつたので焼いて楽しく食事が出来たのでは？

一回目の網も引き終わり子供達の宝さがしやふれあい委員の腕をふるつた焼そばで喜んでもらう事が出来たのではないのでしょうか。
二回目の網も不漁。でも大物のヒラメがあり阿部委員長と全員で決めるジャンケンを楽しんだ。魚はどなたの胃に？土産に持ち帰る魚は少なく残念でしたが、海を見ながら焼きたての魚でお酒を飲まれた方も多く、楽しい地引網ではなかつたかと思ひます。今年も事故もなく、無事に行事を終えることが出来たのも皆様のご協力のおかげと感謝しております。来年もこの行事を行いたいと思ひますので又、皆様のご参加をお待ちしております。



秋も深まり木々の葉は色づき、やがて散っていく。

木々の葉が散ると野鳥観察がし易くなる。葉が繁つていると木にとまる野鳥の姿が見えにくい、葉がないとよく見える。

この季節は冬の渡り鳥がやつてくる時でもある。渡る途中にひと休みする鳥や上空を通過する鳥もいる。通常なかなか見られない珍しい鳥に出合える事もある。

先月末、双眼鏡を片手に室田で野鳥観察している時、上空を見上げると見慣れない大形の野鳥5羽の群が飛んでいるのを見つけ、双眼鏡を覗くと雁の仲間のヒシクイだった。この鳥はシベリアから、

この季節は冬の渡り鳥がやつてくる時でもある。渡る途中にひと休みする鳥や上空を通過する鳥もいる。通常なかなか見られない珍しい鳥に出合える事もある。

肘枕して遠き世の証叩
狭庭にも花野の風情ありにけり
俳句の骨法としては「にも」
「風情」などやや気になるところがあります、何よりも一句の内容、心が通つていて良いです。多分ご自分のお庭、秋めいた花々が咲いて、広い「花野」を思い合わせる所秀逸です。

秋晴や歩き過ぎたる旧街道
近道のコスモス畑濡らす
これは素直な日常そのものの中からと掴まれた自然との触れ合い。朝方のコスモス畑でしょうが、「袖濡らす」がコスモスの儂い質感とよく合っています。「近道」も決して付け足しでなく生きています。

名月や依怙地の鉾を収めをり
雨宮俊平

はるばる渡つて来るが通常は北関東や、新潟、石川県等北陸地方の湖沼で多く見られる冬鳥で、神奈川県では40年前に箱根で一度記録されているだけだ。

渡る途中ひと休みする野鳥が事故に合い死んでしまつたり、瀕死の重傷を負つて発見される事もある。去る9月23日夕、香川の自宅傍で目の前に突然、野鳥と猫が飛び出して来た。野鳥は尾羽と背の羽毛が取られ飛べない状態ではなく、それでも猫から逃れようと、

大きな鳴き声をあげ、必死に翼をバタバタさせていた。猫を追い払いその野鳥を保護したが翌朝、死んでしまつた。調べてみると、ホトトギスであった。春や初夏には、たまには声が聞かれるがなかなかその姿を見ることは出来ないのに、こんな状態でその姿を見るのが出来た事にとつても複雑な気持ちになつてしまつた。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

秋の蚊の悔りがたき羽音かな
これは何より「秋の蚊」の秋がよく生きています。春・夏とは異なる「秋の蚊」。あのややしつこいばかりの、それが「悔りがたき」と押さえて表現しているところが見事です。この一句、「秋」と「悔りがたき」で完璧。

神奈川県では大山や丹沢等の山に多く、秋には平野部を通り、南に渡る。その途中で運悪く猫に出くわしてしまつたようだ。

傷ついた野鳥や動物を保護した時には県自然保護センター(厚木市七沢)〇四六二二四八〇三二三に相談するとよい。又、死んだものを剥製等にしておきたい場合は県環境部自然保護係(平塚合同庁舎内)〇四六三二二二七一一に届け出て許可を得る事になっている。

もっと楽しい話にしたかったが知っておくことも必要である。

無駄の見つめ直しを
道草坊主

物質文明の最たる時代に移行しての現代人の思考は無駄という意味を本質的に忘れてきているといつて良いでしょう。特に生活の中心に位置する「衣食電化」のた

故郷は海に向ふや秋桜
群がりて咲きても寂し曼珠沙華
落鮎の泳ぎあるかに焼かれをり
木の間よりいさよふ月や草光る
椎の実の一つ音する夜長かな
芒原かき分けてゆく鼻の先
長島久江

雲流る千畳敷の青田かな
憂き事の晴れて朝顔かず数ふ
選者吟
鈴木光枝

9月から杉同人の小林鱒一氏を先生として迎えすることにになりました。従つて今回から小林先生の選となります。
(連絡先 長島久江 576525)

9月から杉同人の小林鱒一氏を先生として迎えすることにになりました。従つて今回から小林先生の選となります。
(連絡先 長島久江 576525)

9月から杉同人の小林鱒一氏を先生として迎えすることにになりました。従つて今回から小林先生の選となります。
(連絡先 長島久江 576525)

9月から杉同人の小林鱒一氏を先生として迎えすることにになりました。従つて今回から小林先生の選となります。
(連絡先 長島久江 576525)

訃報(平成13年11月5日現在)

辺見 敏雄様	69才	9月13日
後藤 昇久様	68才	9月28日
大塚 時雄様	72才	10月8日
渡辺 房江様	59才	10月10日
高橋千賀子様	53才	10月14日
内田 英一様	73才	10月24日
岩本 実雄様	51才	10月26日
齋藤 夕力様	93才	10月27日
佐藤 洋巳様	60才	10月31日
熊澤 好教様	81才	11月5日
心より御冥福をお祈り申し上げます。		